

年頭にあたって

施設長 山口 一

中里の家だより
第 12 号

発行年月日
平成元年1月15日

発行
社会福祉法人
安房広域福祉会

〒294-02
館山市中里288-1
0470(28)2022

新春、皆様にはすこやかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

中里の家も二度目の正月を迎え、入所生を始め職員一同も心を新たに、希望に満ちた生活を送っております。

今年には活気の溢れる忙しい年になりそうです。それは、従来からの念願でありました施設の増築整備事業が実現できそうだからです。いま事業計画を策定している所ですが、近い内に具体的な内容をお示しできると思っております。お世話になります関係各位に深く感謝申しあげます次第です。ところで、中里の家も開設二年

になろうとしておりますが、運営面で見る限り、皆様方のご協力と職員諸君のなみなみならぬ努力によりまして、他に比べても遜色のない立派な運営がなされて来たと思っております。

しかしながら、順調であるが故に近頃考えることは、施設即ち集団生活ということにのみ多くの力点が置かれて来たのではないだろうか。施設での集団生活のみが、更生施設における指導・訓練の全てではないはずだと考える昨今であります。

そこで本年からは、入所生の能力・適性に応じた指導や訓練を徐々に取り入れ、将来の社会自立に適

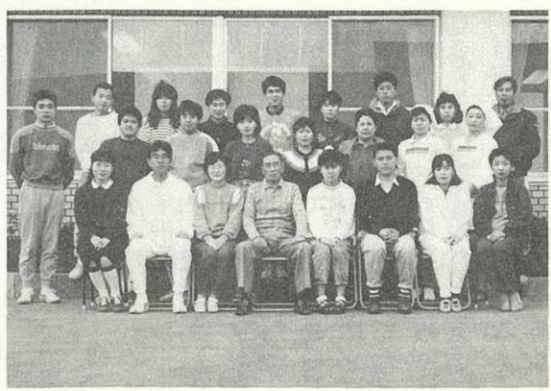
応できるような処遇展開を図っていきたいと考えます。そのためには、ハード面とソフト面の両方が整備されることが前提となります。これは言うは易く、行うは大変難しい問題であります。避けて通ることは出来ない事だろうと思えます。

以上のようなことをふまえて、私は今、中里の家の将来像とでも申しますか、理想の姿を摸索している所です。身の程知らずとお考えになるかも知れませんが、敢えて私の初夢として取り組んでおります。皆様のご提言をお持ちしております。

なにはともあれ、新年に我が中里ファミリーは少しずつ向上しながら、これからも長い生活が続くと思えます。皆様方のお一層のご指導ご協力を、お願い申し上げます。

「中里の家」職員紹介

- 市務員 里島政司
- 指導員助手 小栗周子
- 調理員 家守美由子
- 指導員 井上一範
- 調理員 小漢よし
- 指導員 加藤まゆみ
- 調理員 島田愛子
- 指導員 渡辺和弘
- 調理員 鈴木純子
- 指導員 鎌田治実
- 指導員 山口時代
- 指導員 戸倉悦子
- 指導員 香田道丸
- 指導員 能重学
- 指導員 鎌田善一
- 指導員 内田法和
- 指導員 岡田義之
- 生活主任 加藤祥子
- 指導員 田村信子
- 指導員 山口一
- 事務 松田恵理子
- 事務 鈴木晃
- 事務 古川操
- 栄養士 岡本恵津子



新成人、おめでとう！

一月十五日の「成人の日」に五名の園生と一名の職員が晴れて大人への仲間入りをします。大人になっての抱負や夢、また新成人に期待することなどを、成人者や職員のみなさんに語ってもらいました。



白石和幸
くん

(園芸部担当職員一同)

白石和幸 昭和四十三年十月二十四日生まれ。いよいよ二〇才、大人の仲間入りですね。
和幸君は中里の家に入所して約二年、作業班は園芸部で頑張っています。作業初年度の頃は、自ら

仕事に取り組もうとする姿勢はあまり見られませんでしたね。しかし最近では、自ら蘭の草取り等の仕事が行なえる様になってきました。生活面でも食事当番として、椅子かたづけが行なえるようになってきました。以前は物事に対して興味を持ち、それに取り組んでみようとすると気が薄かった様に思います。しかしここ数ヶ月、自分と与えられた仕事に対して「やってみよう」とする気持ちが徐々に育ってきたように思います。
成人式まであとわずかです。これから、自分自身に与えられた仕事は積極的に行なえるようになりましょう。又、中里には多くの友達がいいます。誰とでも、大きな声で話ができるようになりましょう。お父さんやお母さんの話によりますと、養護学校時代は一日も休まず登校した頑張り屋の和幸君だそうです。これからは和幸君に期待しています。



中野芳照
くん

(農耕部担当職員一同)

中野芳照君は、西暦一九六八年九月二十三日生まれの二十才です。芳照君は幼い頃にお父さんを失くし、その後お母さんによって育てられました。そのためか大変甘えん坊で、いつも「あちゃは(お母さんは)」と職員に問いかけてきます。しかし大人の仲間入りをするわけですから、いつまでもお母さんに甘えてばかりはいられません。中里でいやな事があっても、耳をふさいで「ウーウー」とするのは自分の身体を洗えるようにならなくてはなりません。これからは芳照君が、お母さんへの孝行をしなくてはならないのです。それには、つらいことがあるでしょう、厳しい指導もあるかもしれません。



堀江進
くん

(木工部担当職員一同)

素直で人なつこい進くん。どこかあどけない顔も残っていて、誰からも好かれていく進くん。もう成人式を迎えるんですね。
大人っぽくて子供みたいなの……そんな雰囲気でしょうか、進くん。やさしくて頼りになるタイプかなと思うけど、ちょっと気弱なところがあつたりして、そこが彼らしくてかわいいんです。性格はシャイでお人よし、それでいて笑った時の笑顔がたまらなくかわいいんですよ。「君の瞳は一万ポルト」「百万\$の笑顔」とも言える……その笑顔を見ると私達まで楽しく

しかし一人の大人として、敗けることなく生きてください。
中野芳照君の大人の仲間入りに乾杯。

なってくるような、ホッとする気分になれるんです。私達だけじゃないと思いますよ、この気持ちを味わっているのは…。そんな彼も20才になり、大人の仲間入りです。最近はお心も体も、少しずつですがたくましくなってきたようです。恥ずかしがりやの彼も、自分の意志を言えるようになってきました。園生の中では、面倒見の良い兄貴として人気者。持ち前のやさしさを忘れず、今以上の進くに成長して下さい。

20才、おめでどう。



吉村 晶子
さん

(縫製部担当職員一同)

いつもみんなを楽しませてくれる晶子さんも、成人式を迎えよいよ大人の仲間入りです。
晶子さんに、その感想をいろいろ聞いてみました。

○二十歳を迎えた気持ちは?

大人の仲間入りができてうれしいと思います。

○何をしたいですか?

ウィスキーを、お父さんと飲んでみたいです。

○何になりたいですか?

プロレスラーになりたい。

○これからどのようにしたいですか?

中里の家のみんなと、仲良く楽しく過ごしていきたいです。

がんばりやの晶子さんから、とてもたのしい返事が返ってきました。

からだに気をつけて、みんなをひっぱって行って下さい。



丸 真理子
さん

(縫製部担当職員一同)

縫製部の班長としてこの一年間がんばってきた丸さんも、いよいよ

よ大人の仲間入りすることになりました。新成人を迎えた丸さんにいろいろ聞いてみました。

○二十歳になった気持ちは?

うれしく思います。

○何をしたいですか?

ビールを飲みたい。

たばこが吸いたい。

ウィスキーが飲みたい。

コーヒーが飲みたい。

ディスコに行ってみよう。

○何になりたいですか?

お店屋の人になってみたい。

以上、とてもうれしそうに答えが返ってきました。又、この十五日

には中学校のクラス会があるそうです。丸さんは踊りを踊ってみたいと、とてもはりきっています。

いつまでも笑顔を忘れず、何事もがんばって下さい。

大人の仲間入り、おめでどうございませう。

成人式を迎えて

戸倉悦子

「あつ」という間の二十年…。とうとうこの私も成人式を迎える身となってしまった。それなのに成人式を間近に控えた今でも、まだ自分の事だとは思えず、「成人式を境に何かをしよう」などという考えは到底浮かんでこない、というのが正直な気持ちだ。

それでも、「二十歳は一つの区切りである」という気持ちが自分の頭の中にも少しはあるようで、四月の二十歳の誕生日に、これからは「為せば成る 為さねば成らぬ何事も」をモットーに、物事に取り組んでゆこうと決心した。その日から今日までの九ヶ月間この気持ちでやってきたが、思った以上に充実した毎日が送れたように思う。そしてこれからも、そんな日々を過ごしてゆきたい。

その時でなければできない事、それはたくさんある失すまい事にも、その時にしかできない事はその時にすべてやりとげたい。そのためにも色々な事に首をつっ込みチャレンジしてゆこうと思う。

年頭にあたって

保護者会会長

小原 一夫

新しい年を迎え、皆様には益々御健祥のこととおよろこび申し上げます。

「中里の家」は今年三年目の節目であります。陽気巳に出で、陽気巳に蔵る」との今年の巳年の説文解字にありますように、今までより一段と前進した年になると思えます。

すでに開設以来、施設長を中心にして職員の方々、さらに関係機関および地域社会の多くの方々により着々とその礎石がきづかれ、園生の生活が向上しております。これは、私たち保護者として誠にありがたく厚く御礼申し上げます。このように「中里の家」の園生の向上に日夜懸命に御指導をいただいております職員の方々に始め、陰になり御支援下さっている多くの方々に対して、私たち自身、常に明るい気持ちを持つことが大切であろうかと思えます。

私たち障害者を持つ家庭は、障害を持つ子の事を考えると、とかく暗い気持ちがよくみがちであります。それがはねのけて明るい気持ちで障害を持つ子に接し、また近隣の人たちとも接していかなければ、どうして「この障害者に愛の手を」の輪を拡げることができらるでしょうか。

私たち保護者は「この子らと共に生きる」ために、感謝の気持ちと豊かな心を持って、流動する社会情勢の中で頑張っていきたいと思います。

どうか中里の家の職員の方々、関係機関の方々及び地域社会の方々には今後とも園生を、なお一層ご指導ご支援下さいますようお願い申し上げます。

最後に皆様の御健康を祈念いたしましてご挨拶いたします。

新成人の保護者より

娘の成人式を迎えて

吉村須美子

このたび成人式を迎えて感無量でございます。思えば障害児と知らされ、暗やみに突き落とされたようなショックのなかで最初にこの子を抱いた時、軽くてとてもたよりなく感じました。それから二十一年、いろいろなことが鮮明に思い出されます。はじめてニッコリ笑った時のことやお手傳が出来た時のこと等、また家を離れて東金養護学校寄宿舎での生活では、親の心配をよそに陽気に頑張るようすに励まされました。毎週の送り迎えも電車を乗りついで片道三時間半余り、電車の窓にフーッと息を吹きかけて駅名を指で書いて文字を覚えたり、乗り合せた乗客の方と仲良しになったこと等、楽しい思い出もありました。私自身も教えられることが多々ありました。障害をもつて生れた不運を不幸と感ずることなく、明るくのびのびと成長した事を幸せに思います。世の中の何物にも感謝の気持ちでいっぱいです。このような気持ちで成人式を迎えられますのも、あたたかく御指導下さる先生方の御苦労のお陰とありがたく思っております。今後ともよろしくお願い致します。

娘の成人式に思うこと

丸 和枝

早いものです。まり子が、成人式をむかえる年になりました。いろいろと思ひ出します。まり子は初めての子供でしたので家族は喜びましたが、生れた時は小さく、母乳を吸う力が弱くて栄養失調で命を失うところでした。そんな時おばあちゃんが居てくれたので助かり、私はおばあちゃんに感謝しています。はたしてまり子に通じてくれているのでしょうか？ そんな状態でしたので身体が弱くてたびたび熱を出し、小児ぜんそくをくり返し、歩く力が弱くてずいぶん心配しました。なんとか普通の子供においづくようにとあせりましたが無理でした。小学校では友達ができませんでしたが、中学校や安房養護学校では先生や友達に恵まれ、楽しくすごしたようです。中里の家に入所して規則正しい生活をし、先生方に良くしていただいで、まり子にとってよかったです。これからは誰とも話ができ、皆さんに親しまれる人になってほしいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

職員の抱負

新年おめでとうございます。今年も職員のみなさんに、短歌で今年の抱負を書いてもらいました。

鈴木純子

ふりそそぐ

陽にきらめきて 咲き匂う

みとれる菊の 美しき姿

田村信子

この一年

心豊かに おくりたい

どなるまいぞよ いびるまいぞよ

井上一範

今年こそ

釣ってみせよう 黒鯛を

エサ代ばかり またミジメかな

松田恵理子

調理員

天職なれば 早番の

早朝出勤 眠けなんのその

小濱よし

へびのように

気持ち長く しなやかに

真つすぐ伸びたり 丸くなったり

山口時代

今年こそ

我人生の 華になる

年にと願う 我れはおかしき

加藤まゆみ

鈴木 晃

巳年こそ

へびー級にならぬ努力をし

やせて細身に なりたいなあ

島田 愛子

ブクブクと

太る我が身に 気合い入れ

やせるぞ 道丸 ここにあり!

香田 道丸

何事も

チャレンジ精神 旺盛に

一度でだめなら 二度三度

戸倉悦子

古川 操

大空へ

とんびと共に はばたいて

舞って見たいね 中里ファミリィ

里島 政司

ニヨロニヨロ

獲物を逃すな くらいつけ

あきらめないぜ ぼくはへび年

渡辺 和弘

はたち過ぎ

まわりは急げと 言うけれど

何もつれない 小指の糸に

鎌田 治実

岡本恵津子

初春に

思いしことの数々を

今年こそはと 胸に刻めり

鎌田 善一

今年こそ

完璧めざし まっしぐら

行事の他に やる暇もなし

加藤 祥子

かなうなら

素敵な花と 温もりを

寒い心に とどけてほしい

能重 学

頑張っ

仕送りしよう 子のために

選手になれと 毎日電話

家守美由子

にわたりの

朝を知らせる ときの声

さあ がんばるぞ 今年一年

内田 法和

春になり

ミツバチに化け ひた走る

今日は東北 明日北海道

岡田 義之

今年こそ

結婚しよう でもだめだ

相手がいらない どうしようもない

小栗 周子

行事部より

秋も終りの11月26日、第二回収穫祭が開催されました。

展示即売・芋煮会・バザーともに好評で、地元の協力も得られ、園芸や職員一同、これからの作業に意欲を新たにしました。

12月8日は、往復歩きの南房パラダイスへの遠足。四月当初にくらべると、その健脚ぶりには目をみはるものがありました。天気にも恵まれ、小春日和の一日をゆっくりに楽しみました。

24日はサンタのおじさんもやってきて、楽しいクリスマス会。各作業部の趣向を凝らした出し物で、おなかの痛くなる程笑った人もいましたね。

27日は餅つき大会。おなか一杯食べて満足したあとは家庭実習になり、63年の行事も無事終了しました。

新しい年の最初の行事は、安房神社への初詣。そして16日の新年会、成人式、下旬の小塚初大師。

2月は節分会とボーリング大会

(家庭実習)、三月には母狩り(家庭実習)を予定しています。行事係としては多忙な日々でしたが、園生の皆さんの喜ぶ顔を楽しみに、残りの三ヶ月を頑張りたいと思います。御協力よろしくお願ひします。



12月8日 南房パラダイス



12月24日 クリスマス会



編集後記

一九八九年が幕を開け、「虹」第十二号を新年号としてお届けいたします。

この冬は、厳しい寒さの中にも好天の日が続いておりますが、中里でも晴れて大人の仲間入りをする園生が五名おり、明るい

話題となっています。

若々しい園生達に負けないように、この「虹」も皆様の御協力や御支援をいただいで頑張っていきたいと思えます。本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

